

●予算・決算審査のこれまでの審査形態

① 合併(H17.11.1)後

- ・平成17年度 予算 → (暫定予算) 専決承認(H17.12 定例会)  
(本格予算) 常任委員会付託 (H18.01 臨時会)
- ・平成18年度 予算 → (骨格予算) 常任委員会審査付託(H18.03 定例会)  
(本格予算) 予算特別委員会付託 (H18.06 定例会)

② ドント方式による13名の特別委員会へ審査付託

- ・平成18年度 本格予算(H18.06 定例会) ~ 平成26年度 予算(H26.03 定例会)

ドント方式：会派の構成員数を1・2・3という整数で割っていき、得られた商(割った答)の大きい順に委員として配分する。

③ 13名ずつの2グループ体制による特別委員会へ審査付託

- ・平成25年度 決算(H26.09 定例会) … Aグループ
- ・平成27年度 予算(H27.03 定例会) … Aグループ
- ・平成26年度 決算(H27.09 定例会) … Bグループ
- ・平成28年度 予算(H28.03 定例会) … Bグループ

議長、監査委員を除く全議員を2つのグループに分けて、13名ずつが交互に予算・決算特別委員会の委員となる。

- ・例えば、9月に平成25年度決算審査を行った委員が、翌年3月に平成27年度予算審査を行う事により、これまで以上に、決算審査を踏まえた予算審査を行う事ができる。
- ・例えば、平成27年度予算を審査した委員が、翌年9月に平成27年度決算審査をすることとなり、審査した予算について、決算も審査する。

④ 分科会方式(常任委員会単位の全員参加)による特別委員会へ審査付託

- ・平成27年度 決算(H28.09 定例会) ~ 現在

…総務政策分科会・教育民生分科会・産業建設分科会

※H28.09.05 施行 伊勢市議会決算特別委員会運営要綱

※H29.02.20 施行 伊勢市議会予算特別委員会運営要綱

上記2グループに分ける方法が一区切り付いたことを受け、議員全員が審査に参加できるよう、常任委員会を単位とした分科会を設置、より専門的で効果的な審査が期待できるようになる。

## 予算・決算審査の推移

年別	予算審査	決算審査	備 考	審査方式
H 17	- H17 年度暫定予算 - 12月定例会 専決承認	-	・H17. 11 34名 ・任期 H17. 11～H21. 11	
	- H17 年度本格予算 - 1月臨時会 常任委員会			
H 18	- H18 年度骨格予算 - 3月定例会 常任委員会	- H17 年度旧市町村決算 - 3月～6月定例会 特別委員会 ドント方式 13名 - H17 年度新市決算 - 9月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	・H21. 11 28名 ・任期 H21. 11～H25. 11	② ドント方式
	- H18 年度本格予算 - 6月定例会 特別委員会 ドント方式 13名			
H 19 ～21	- H19～21 年度予算 - 3月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	- H18～20 年度決算 - 9月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	・H21. 11 28名 ・任期 H21. 11～H25. 11	
H 22	- H22 年度予算 - 3月定例会 特別委員会 ドント方式 13名 - H22 年度補正予算 - 6月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	- H21 年度決算 - 9月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	・H21. 11 鈴木市長就任、 具体的な政策は H22. 6 月 補正で計上	
H 23 ～25	- H23～25 年度予算 - 3月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	- H22～24 年度決算 - 9月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	・H23. 11 28名 ・任期 H25. 11～H29. 11	
H 26	- H26 年度予算 - 3月定例会 特別委員会 ドント方式 13名	- H25 年度決算 - 9月定例会 2 グループ 体制(A) 13名		
H 27	- H27 年度予算 - 3月定例会 2 グループ 体制(A) 13名	- H26 年度決算 - 9月定例会 2 グループ 体制(B) 13名		③ 2 グループ 方式
H 28	- H28 年度予算 - 3月定例会 2 グループ 体制(B) 13名	- H27 年度決算 - 9月定例会 3 分科会方式		
H 29 ～R7	- H29 年度～R7 年度予算 - 3月定例会 3 分科会方式	- H28～R6 年度決算 - 9月定例会 3 分科会方式	・H29. 11 26名 ・任期 H29. 11～R3. 11 ・R3. 11 24名 ・任期 R3. 11～R7. 11	④ 分科会 方式

## ●各審査形態

### (1) 分科会方式

#### ①審査方式

予算は議長を除く全議員、決算は議長、監査委員を除く全議員をメンバーとする特別委員会を設置し、その下に常任委員会を単位とする分科会を設置し審査を行う方式。議案の分割は違法とされているため、それを回避し、かつ各常任委員会単位で審査するために利用されることが多い審査形態。

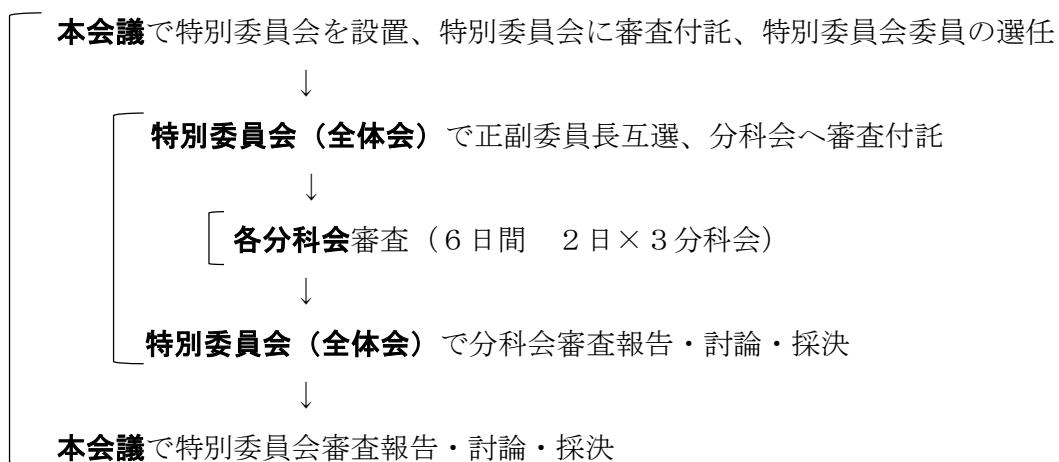
三重県下では、桑名市議会、四日市市議会、いなべ市議会、鈴鹿市議会、松阪市議会(決算のみ)、伊勢市議会の6市が採用している。

伊勢市においては、令和28年9月定例会から実施。

#### ②審査範囲

各分科会が所管する費目を審査。

#### ③審査の流れ



※ 特別委員会の下に分科会を設置するため、審査に全体会を2日、分科会に6日を要する。

#### ④分科会委員の意見

- ・監査委員(決算特別委員会のみ)、議長以外の全議員が参加できる。
- ・専門的、効果的審査が可能。
- ・各委員が参加することのできる審査範囲が所管の常任委員会の範囲に限られる。
- ・分科会の委員が常任委員会の委員と同じであるため、偏りができ、深まりに欠け、専門的な議論ができるかについては疑問がある。また、常任委員会での議論から出ることなく、別角度からの議論ができない。
- ・常任委員会と同じ委員だけでは民意の反映は難しい。
- ・議員は自身の常任委員会の所管に関係する人だけと関わるわけでないため、常任委員会の所管と関係なく参加できる形態が必要。

- ・常任委員会で専門性を発揮できるため、予算・決算審査では分科会方式である必要がない。
- ・以前の13名程度の特別委員会方式と比べると期待していた専門性を感じられない。

## (2) 13名程度の特別委員会方式

### ①審査方式

3月定例会、9月定例会で特別委員会を設置し、設置の都度、各派代表者会議で特別委員会のメンバーを決め、そのメンバーにおいて全ての事業について審査を行う方式。

三重県下においては、津市議会（決算のみ）で採用している。

伊勢市においては、平成18年3月定例会～平成26年3月定例会まで実施。

### ②審査範囲

全ての予算、全ての決算について議論。

### ③審査の流れ

**各派代表者会議**で特別委員会委員について協議・内定



**本会議**で特別委員会を設置、特別委員会に審査付託、特別委員会委員の選任



**特別委員会**で正副委員長互選



**特別委員会**で審査（6日間）・採決



**特別委員会**で報告書審査



**本会議**で特別委員会審査報告・討論・採決

※ 以前の審査の状況から、特別委員会での正副委員長互選、報告書協議を除き、実際の審査に5日～6日程度を要すると考えられる。

### ④分科会委員の意見

- ・委員は、全ての費目について議論ができる。
- ・多数の委員で審査を行うため、様々な角度からの議論ができ、常任委員会での議論より深い議論が期待できる。
- ・議員の半数以上の構成となるため、審査項目がほぼ網羅される。
- ・様々な議員が議論を共にするため、議論の仕方なども含め参考になり、視野が広がる。
- ・全ての費目について審査できることは、議員の成長、視野を広げることに有効である。

- ・ドント方式で委員を選出すると、1人会派は参加できず、大きな会派は同じ人が両方に参加することになってしまう。
- ・会派から委員を選出する際、予算を審査した議員を当該年度の決算審査に選出することで、予算審査を踏まえた決算審査をすることができる。

### (3) 役選時にグループ分けする方式

#### ①審査方式

12月の役選時に、議長を除く全議員（監査委員は予算審査に限る）を、予算を審査するグループ、決算を審査するグループの2グループに分け、それぞれのグループが全ての費目について審査を行う方式。

#### ②審査範囲

各議員が年に1度、予算審査・決算審査のいずれかで、全ての費目について議論。

#### ③審査の流れ

12月の**各派代表者会議**で予算審査をするグループ、決算審査をするグループを協議・内定



**本会議**で特別委員会を設置、特別委員会に審査付託、特別委員会委員の選任



**特別委員会**で正副委員長互選



**特別委員会**で審査（6日間）・採決



**特別委員会**で報告書審査



**本会議**で特別委員会審査報告・討論・採決

※ 以前の審査の状況から、特別委員会での正副委員長互選、報告書協議を除き、実際の審査に5日～6日程度を要すると考えられる。

#### ④分科会委員の意見

- ・議長を除く全て議員がいずれかの特別委員会に入るため、1年に1回は全体の議論に参加できる。
- ・24人の議員定数から言えば、11人もしくは12人の構成になるので審査項目が網羅される。
- ・様々な議員が議論を共にするため、議論の仕方なども含め参考になり、視野が広がる。
- ・全ての項目について審議できることは、議員の成長、視野を広げることに有効である。

#### (4) 全議員で予算・決算審査を行う方式

##### ①審査方式

全議員による特別委員会を設置し、全員で審査を行う方式。

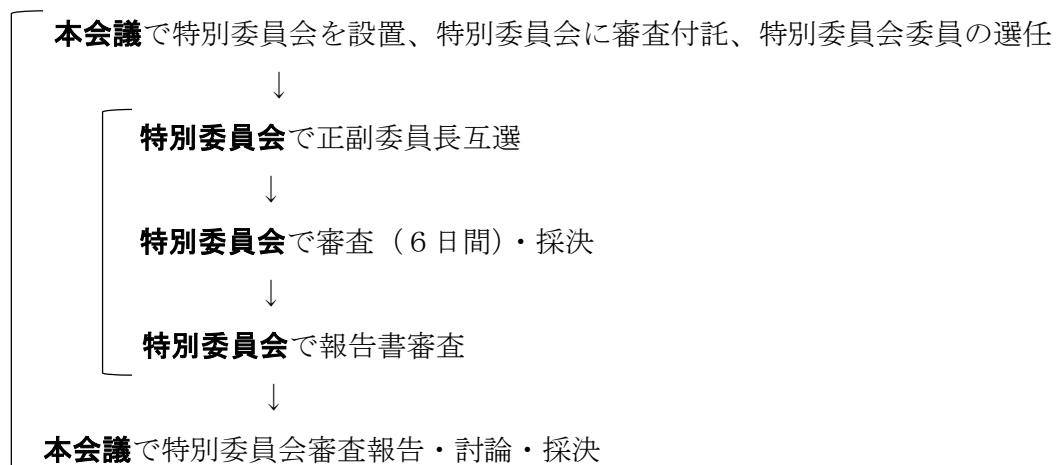
三重県下では、議長、監査委員を含む、含まないなどの違いはあるが、亀山市議会、伊賀市議会、名張市議会、鳥羽市議会、志摩市議会、熊野市議会、尾鷲市議会の7市が採用している。

伊勢市議会では実施したことがない審査形態のため、審査の進め方、日程、審査場所等は十分協議を行い、決定する必要がある。

##### ②審査範囲

全ての予算、全ての決算について議論。

##### ③審査の流れ



##### ④分科会委員の意見

- ・他市で実施されている委員会全体で討議議題について意見を出し合う「委員間討議」は参考にすべきである。
- ・全議員が予算・決算の内容を知ることは大切であり、何を目指して審査をしていくのか、その方法を模索していくことが必要である。
- ・議員全員が審査を行う場合、どれだけの時間が必要なのか。延々と質疑が続くものと想定される。

## 参考

### ・令和8年3月定例会 日程案

2月							2026						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24 本会議 ←	25	26	27	28	22	23 本会議 ←	24	25	26	27	28
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

3月							2026						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 予算特別(正副) ←	4	5 予算特別 ①	6	7	1	2	3 予算特別 ② ←	4	5 予算特別 ③	6	7
8	9 予算特別 ④ ←	10	11	12	13 常任 ←	14	8	9 予算特別 ⑤ ←	10	11	12 予算特別 ⑥ ←	13 常任 ←	14
15	16 常任 ←	17	18 予算特別 ←	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23 本会議 ←	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4	29	30	31	1	2	3	4

### ・令和8年9月定例会日程 案

9月							2026						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5	30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14 本会議 ←	15	16	17	18	19	13	14 本会議 ←	15	16	17	18 本会議 ←	19
20	21	22	23	24 本会議 →	25	26 決算特別(正副) ←	20	21	22	23	24	25	26
27	28 本会議 ←	29	30 決算特別 ① →	1	2	3	27	28	29	30	1 決算特別 ② ←	2	3

10月							2026						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3	27	28	29	30	1 決算特別 ③ ←	2	3
4	5 決算特別 ⑤ ←	6	7 常任 ←	8	9	10	4	5 決算特別 ⑥ ←	6	7 常任 ←	8	9	10
11	12	13 決算特別 ←	14	15 本会議 ←	16	17	11	12	13 決算特別 ←	14	15 本会議 ←	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31

※ 予算・決算書類の実質の審査については、いずれの方針においても6日間を設定。

※ 分科会方式については、各分科会での審査をそれぞれ2日で設定。(2日×3分科会)  
特別委員会最終日は採決を設定。

※ 13名程度の特別委員会方式、役員時にグループ分けする方式については、特別委員会最終日に報告書審査を設定。全議員で予算・決算審査を行う方式については、日程、審査方法等については要検討。

## 三重県下市議会の予算・決算審査の状況 (R7. 1. 28 現在)

市	設置形態		委員構成	分科会の有無
桑名市	予算	予算特別委員会	議長を除く全議員	有り
	決算	決算特別委員会	議長及び監査委員を除く全議員	有り
四日市市	予算	予算常任委員会	議長を除く全議員	有り
	決算	決算常任委員会	議長及び監査委員を除く全議員	有り
いなべ市	予算決算常任委員会		議長を除く全議員	有り
鈴鹿市	予算決算常任委員会		議長・副議長・監査委員を除く全議員	有り
亀山市	予算決算委員会 (常任委員会)		議長を除く全議員 (17名)	無し ※1
伊賀市	予算	予算常任委員会	議長を除く全議員 (21名)	無し
	決算	決算常任委員会	議長及び監査委員を除く全議員 (20名)	(R7. 9から)※1
名張市	予算	予算特別委員会	全議員 (議長を含む) (18名)	無し
	決算	決算特別委員会	全議員 (議長を含む) (18名)	無し
津市	予算	所管常任委員会に審査付託	—	—
	決算	決算特別委員会	9名	無し
松阪市	予算	所管常任委員会に審査付託	—	—
	決算	決算調査特別委員会	議長及び監査委員を除く全議員	有り
鳥羽市	予算決算常任委員会		議長を除く全議員 (12名)	無し
志摩市	予算決算常任委員会		議長を除く全議員 (17名)	無し
熊野市	予算	予算審査特別委員会	全議員 (議長を含む) (12名)	無し
	決算	決算審査特別委員会	全議員 (議長を含む) (12名)	無し
尾鷲市	行政常任委員会		全議員 (議長を含む) (10名) ※2	無し

※1 R7. 8. 18 確認

※2 常任委員会が 1 委員会のため